

おおやままいり

## #28 大山詣り

作者：川島敏郎（かわしま・としろう 1947-）

刊行：平成29年（2017）

### 📖 解題

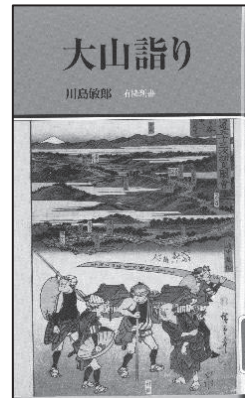
#### ■ 内容

平成28年（2016）、文化庁より日本遺産に認定された大山（ストーリータイトル「江戸庶民の信仰と行楽の地～巨大な木太刀を担いで『大山詣り』～」）。

古くから神仏の宿る霊山として、貴賤上下の間で崇拜されてきた大山は、江戸時代中期（18世紀中頃）以降、江戸地廻り経済の活性化も手伝い、一般庶民の間に寺社参詣を兼ねた物見遊山が大流行した。大山へと向かう街道（大山道）には道標や燈籠、鳥居等が設置され、参詣客の便宜を図った。「大山詣り」の道中すべてを演出したのが、修験を出自とする御師たちであった。浮世絵などに活写されたその賑わいは、旅行内書、旅日記などでも窺い知ることができる。

本書は、大山の歴史を通観し、縁起絵巻、霊験記をはじめとする各種資料を読み解くことで、大山信仰の全貌を描き出し、現在辿ることのできる史跡に言及し、大山がいかに日本遺産にふさわしいかを様々な観点から立証している。

本書は9章で構成されている。第I章「大山の歴史」、第II章「『大山寺縁起絵巻』を読み解く」、第III章「『大山不動霊験記』からみた大山信仰の諸相」、第IV章「大山講の師檀関係」、第V章「旅案内書・旅日記からみた近世の大山」、第VI章「文芸・絵画資料からみた大山信仰」、第VII章「大山道と大山道標」、第VIII章「石造大山二ノ鳥居の建立と民衆の躍動」、第IX章



[K17.64/61]

[163.1/143]

「大山を歩く」。

#### ■ 作者

作者は川島敏郎。早稲田大学大学院文学研究科博士課程日本史学専攻満期退学。神奈川県立高校教諭、神奈川県立公文書館郷土資料課専門員、産業能率大学客員研究員等を歴任。現在NPO法人神奈川歴史教育研究会理事長、伊勢原市文化財保護審議会委員。

著書に『相州大山信仰の底流』、『日本の遺跡と遺産 3 古代の遺跡』等がある。高校教師として神奈川県に赴任した事を機に、市民とともに伊勢原・大山関係史料を読み込み、研究を続けた。大山信仰の研究の検証、再構築の場でもあった大山公民館夏季講座を34年間継続しており、その副産物が本書の論考となっている。講座を行っている間、大山寺僧侶、養智院前住心蔵の名著『大山不動靈験記』全15巻の存在が明らかになり、足掛け13年かけて読了、データ入力に取り組んでいる。川島が入力したデータは、神奈川県立図書館「神奈川県郷土資料アーカイブ」にて公開されている。

#### 参考文献

『大山寺縁起』大山寺 1984 [K18.64/23] [N5.2/ダイ]

『江戸庶民の信仰と行楽』池内真由美著 同成社 2002 [K38/172]

川島敏郎「古記録から見た大山信仰の諸相：『大山寺縁起絵巻』・『大山不動靈験記』を中心として」（『神奈川県立公文書館紀要』第6号 神奈川県立公文書館 2008）[K01/71/6]

『定本大山寺縁起絵巻 上・下』川島敏郎著 旅めぐり証明発行基金会 2012 [K18.64/40]

『相州大山信仰の底流：通史・縁起・靈験譚・旅日記などを介して』川島敏郎著 山川出版社 2016 [K17.64/58]